

令和5年度

事業報告書

公益財団法人群馬県産業支援機構

# 目 次

I 概要	1
II 事業の概要	
1. 経営支援	3
(1) 経営資源強化対策事業	
(2) よろず支援拠点事業	
(3) 地方創生起業支援事業	
(4) 地域資源活用等促進事業	
(5) 中小企業活性化協議会事業	
(6) 事業承継・引継ぎ支援センター事業	
(7) プロフェッショナル人材戦略拠点事業	
(8) 中小企業外国出願支援事業	
(9) 情報整備発信事業	
(10) ネットワーク交流促進支援事業	
(11) 上海事務所運営事業	
2. 取引開拓支援	9
(1) 下請取引あっせん事業	
(2) 販路開拓支援事業	
3. ものづくり技術・産学連携支援	12
(1) 新成長分野への挑戦の支援	
(2) デジタル化支援による生産性向上	
(3) ものづくり人材育成事業	
(4) 国・県の競争的資金獲得等の伴走支援	
4. その他	16
(1) 機構管理運営	
(2) 設備導入資金債権管理	

## I 取組概要

我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に落ち込んだ後、徐々に社会経済活動の正常化が進んできました。この間、（令和4年2月には）ロシアによるウクライナ侵略があり、また欧米におけるコロナ禍からの回復もあり、世界的な原油・資源の高騰や物価上昇の影響を受けました。

令和5年5月には、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが2類相当から5類へと変わり、社会・経済活動の制約要因が解消され、アフターコロナ時代を迎えました。このため、個人所得の実質ベースでの減少傾向も相まって財消費は力強さを欠いたものの、個人消費は飲食や宿泊等の対面サービスを中心に回復が見られ、製造業でも業況が改善し、日本経済は緩やかな回復基調にありました。

群馬県においても、資源高などの影響を受けつつも、日本銀行前橋支店の金融経済概況においては、年度を通して「持ち直している」とされました。しかしながら、中小・小規模事業者においては、デジタル化による生産性向上、脱炭素・カーボンニュートラル、CASE対応、SDGs、事業再構築、事業承継、人材育成など多様化する経営課題への対応が喫緊の課題となっており、当機構においては、これらの経営課題の解決に取り組む中小・小規模事業者に対して、総合的に伴走支援を行いました。

また、機構内の多様な専門家とともに、経営と技術のワンストップ拠点として、国・県、経済団体、金融機関などの支援機関との連携強化に努めました。

### （重点事項に対する取組）

#### 1 中小企業等への支援を強化

中小企業・小規模事業者の事業活動を総合的に支援するため、経営と技術のワンストップサービス拠点として、国・県、経済団体、金融機関、大学に加え新たに群馬県中小企業診断協会、群馬県行政書士会との包括連携協定や群馬弁護士会との覚書を締結し、伴走支援を強化しました。

第三者承継の成約増など、持続可能な開発目標(SDGs)を達成するための経営課題の解決に取り組む中小企業・小規模事業者の経営基盤の強化、創業前後の事業計画や課題など、総合的かつ一体的に支援しました。

#### 2 中小企業等へのDX支援

社会の変化や時代の新たな潮流などを踏まえ、デジタル社会の形成に向けて、群馬産業技術センターや商工会議所・商工会等との連携により中小企業等のニーズを共有しながら、よろず支援拠点やビジネスサポートBASEぐんまの専門家等が、中小企業等のDX化・IT導入の相談対応を行い、取組段階に応じて積極的に伴走する他、次の取組を行いました。

- ① デジタル化を支援するスマートものづくりコーディネーターを配置し、ハンズオンによる支援を行うとともに、群馬産業技術センター「デジタルソリューションラボ」との連携により、製造業等のデジタル技術による生産性向上を支援しました。  
また、「ロボットSI基礎講座」やデジタル化に役立つセミナーの開催、先進企業視察など実施しました。
- ② 製造業の開発部門で活用されるデジタル技術であるCAE（コンピュータ支援エンジニアリング）基礎講座を樹脂射出成形、プレス成形向けにそれぞれ開催しデジタル人材の育成を支援しました。
- ③ 新商品開発や販路開拓などの攻めの経営実現のため、デジタル化やIT導入に係る専門的な外部人材を必要とする中小企業に対して、兼業・副業人材も活用しながら、デジタル分野等の人材マッチングを支援しました。

### 3 挑戦する中小企業等への支援

次世代モビリティ産業、航空産業等への参入に向け挑戦する中小企業等に対し、コーディネーターや登録専門家による技術支援を行うほか、受発注企業の紹介・あっせん、商談会や国際展示会等の販路開拓支援、補助金活用支援など取引開拓を積極的にサポートしました。

また、コーディネーター1名を増員し、自動車サプライヤー支援センターの拡充を図りました。特に5年度は、電動車の構造や技術的特徴を把握するため、電動車分解調査を実施し、92社、266名がEV化への参入のヒントや自主製品の提案力向上について学びました。その他、経営者向けの勉強会を開催し、経営、技術的課題解決を図り、自社がもつ技術の活用や革新を促進し、地域自動車サプライヤーを強力に支援しました。

## II 事業の概要

### 1. 経営支援

決算額	497,552千円(前年度495,961千円)
-----	-------------------------

#### (1) ビジネスサポートBASEぐんま（経営資源強化対策事業）

中小企業支援に係る県域プラットフォームの代表機関として、創業・経営戦略・経営革新・販路戦略など経営全般の課題を解決するため、マネージャー3名を配置して相談に応じ伴走支援しました。

○相談実績（相談内容延べ件数）

内 容	件数	構成比	内 容	件数	構成比
ビジネスプラン	579	33.4%	経営改善	20	1.2%
創業	444	25.6%	人材育成・労務	13	0.8%
経営戦略	359	20.7%	IT(情報技術)	14	0.8%
財務・資金	140	8.1%	技術・特許	10	0.6%
経営情報提供等	68	3.9%	法律	2	0.1%
販路	61	3.5%	海外展開	1	0.1%
事業承継	21	1.2%	計	1,732	100%
				(前年度1,276件)	

○経営革新計画の推進

中小企業等経営強化法に基づく「経営革新計画」の受付窓口をビジネスサポートBASEぐんま内に新規に設置し、事前チェック及びブラッシュアップ等をマネージャーが支援し、申請の受付を行いました。

ア 推進支援件数 26件

#### (2) よろず支援拠点事業

地域の各種支援機関と連携しながら、中小企業・小規模事業者が抱える売上拡大や経営改善等の経営課題に対してコーディネーターが相談対応しました。

また、支援機関・専門家等と連携体制を強化するとともに支援機関に支援モデル・ノウハウ等を提供し、支援機関のスキルアップを応援しました。

さらに、4年度に引き続き、成長を目指す中小企業に対する伴走支援を行いました。

ア 体制（R6.3.31時点）

チーフコーディネーター 1名  
 サブコーディネーター 1名  
 コーディネーター 24名 計26名(前年度計24名)

イ 相談対応件数 14,186件(前年度15,948件)

※相談企業数 1,646社(前年度1,519社)

○相談実績(相談内容延べ件数)

内 容	件数	構成比	内 容	件数	構成比
経営知識	3,342	23.5%	IT活用(内部管理)	307	2.2%
施策活用	1,923	13.6%	法律	305	2.1%
広報戦略	1,771	12.5%	現場改善・生産性向上	261	1.8%
広告デザイン	1,161	8.2%	商品デザイン	129	0.9%
事業計画策定	1,151	8.1%	知的財産	50	0.4%
IT活用(情報発信)	1,108	7.8%	事業連携	33	0.2%
資金繰り	601	4.2%	地域資源活用	23	0.2%
商品開発	485	3.4%	海外展開	7	0.1%
販路提案	416	2.9%	債権保全・債権回収	5	0.1%
市場設定	359	2.5%	その他	110	0.8%
雇用労務	323	2.3%	計	14,186	100%
市場調査	316	2.2%			

ウ 成長を目指す中小企業への伴走支援 7社(前年度5社)

エ セミナー・出張相談・勉強会等開催 166回(参加者808名)

【内訳】

○セミナー5回(参加者87名)

セミナー名	開催日	会 場	参加者
インボイス制度対策セミナー	R5.4.28	産業技術センター	3名
プレスリリースセミナー	R5.7.4	Gメッセ群馬会議棟	52名
インボイス制度と電子帳簿保存法改定セミナー	R5.8.18	産業技術センター	19名
プレスリリースセミナー (高崎商工会議所共同開催版)	R5.10.3	高崎商工会議所	8名
初めての消費税申告セミナー	R6.2.17	高崎商工会議所	5名

○出張相談 96回(参加者:295名)

(内訳) 金融機関 30回(参加者:111名)

商工会議所・商工会 66回(参加者:184名)

○勉強会 44回(参加者:223名)

※売上拡大、人手不足対策、脱ドングリ勘定、ChatGPT(生成AI)、Canva(ネットデザインサイト)等をテーマとした少人数勉強会を開催。

○研究会 3回（参加者：40名）

※プレスリリース研究会を開催。

○イベント（高崎・桐生サロン）18回（参加者：163名）

※価格転嫁交渉、デジタル化の進め方、カーボンニュートラル等をテーマとした勉強会・相談会を兼ねたイベントを開催。

### （3）地方創生起業支援事業

県の定めた対象分野で地域の課題解決に取り組む社会的事業者として起業する者に対し、起業に必要な経費の一部を補助しました。

また、市町村や地域支援機関等と連携した伴走支援を行い、社会的事業における効果的な起業を促進しました。

○起業支援金の補助 21者（前年度30者）

（最大2,000千円補助率1/2）

○支援実績

事業年度	応募者	採択者	辞退者	補助金交付者
H31(R1)	40	33	7	26
R2	70	34	3	31
R3	55	35	4	31
R4	74	32	2	30
R5	66	29	8	21
計	305	163	23	139

### （4）地域資源活用等促進事業

県内の地域資源を活用した商品等の販路拡大を図るため、食品流通の大規模展示商談会に県内企業とともに出席しました。

○スーパーマーケット・トレッドショー

開催日	会場	内容
令和6年2月14日～ 令和6年2月16日	幕張メッセ9ホール	参加企業数 7社 商談件数 323件 成立件数（開催中）7件

### （5）中小企業活性化協議会事業

産業競争力強化法に基づく認定支援機関として、経営の継続が厳しい状況にある中小企業の再生支援等を実施しました。

なお、令和4年4月1日からは、中小企業再生支援協議会と経営改善支援センターを統合しており、収益力改善・事業再生・再チャレンジを一元的に支援しました。

#### ① 再生計画の策定支援

中小企業からの相談に対し、経営上の問題点や具体的課題を抽出して、

状況に応じた適切な助言や支援策の検討を行いました。再生が見込まれる企業については、金融機関等と調整を図りながら、外部専門家（公認会計士、中小企業診断士等）による個別支援チームを編成し、再生計画策定を支援しました。

○相談実績

内 容 別		業 種 別	
収益力改善	11件	製 造 業	31件
通常再生	118件	卸・小売業	24件
		運 輸 業	12件
		飲 食 業	10件
		建 設 業	9件
		サービス・その他	43件
計	129件 (前年度181件)	計	129件 (前年度181件)

○再生計画策定支援開始 46件

○再生計画策定完了 52件（越年案件含む）

② 経営改善計画の策定支援

中小企業・小規模事業者の経営改善を図るため、認定支援機関が経営改善計画・早期経営改善計画の策定を支援する費用及びフォローアップ費用の一部を負担して経営改善を促進しました。

○上限額 早期 200千円、一般 2,000千円 補助率 2/3

○実績

内 容	早 期	一 般	計
相 談 件 数	21件	172件	193件（前年度265件）
利用申請件数	8件	71件	79件（前年度96件）
計画策定完了	5件	72件	77件（前年度72件）
モニタリング	16回	333回	349回（前年度223件）

(6) 事業承継・引継ぎ支援センター事業

産業競争力強化法に基づく認定支援機関として、中小企業・小規模事業者の円滑な事業承継・引継ぎを支援しました。

① 事業引継ぎ（第三者承継・M&A）支援

後継者未定又は不在の中小企業者に対し、多種多様で、事業内容や課題も地域性が強いという中小企業の特徴を踏まえ、各地域の関係機関や専門家等と連携し、中小企業者の円滑な事業承継・引継ぎを支援しました。

また、小規模事業者の事業引継ぎを円滑に進めるため、起業・創業者との



マッチングを行う後継者バンク事業を行いました。

ア 相談実績

内 容 別		業 種 別	
譲渡希望(売り)	1 2 8 件	製 造 業	9 1 件
譲受希望(買い)	1 0 6 件	サービス業	5 1 件
その他	8 1 件	建 設 業	4 1 件
		後継者バンク (創業希望者)	4 0 件
		卸・小 売業	3 6 件
		その他	5 6 件
計	3 1 5 件 (前年度367件)	計	3 1 5 件 (前年度367件)

イ 成約件数 3 1 件 (前年度 28 件)

ウ 後継者バンク 事業所 3 3 社 起業・創業者 4 0 人 成約 1 1 件

② 事業承継（親族内承継）支援

事業承継ネットワークの構成機関と連携して、事業承継の課題や支援ニーズを抱える企業を掘り起こし、相談対応により課題の整理を行うとともに、事業承継診断を行ったのち、案件により専門家派遣による事業承継計画を策定し、親族等への円滑な承継を支援しました。

また、構成機関・登録専門家等に対し、事業承継支援に必要な知識を身につけるための研修を行いました。併せて、事業承継計画作成や後継者バンク等の事業を活用した後継者、若手経営者を対象に、経営に当たり必要となる知識・能力を高めるため、よろず支援拠点とも連携して次世代経営者の育成に努めました。

ア 相談対応件数 8 0 件 (前年度 121 件)

イ 計画策定件数 2 6 件 (前年度 31 件)

ウ 事業承継診断実施 3, 6 3 8 件 (前年度 3, 828 件)

(事業承継ネットワーク構成機関の実施総数)

エ 金融機関・商工会職員向け勉強会 3 回 参加者 9 0 名

(7) プロフェッショナル人材戦略拠点事業

成長力の高い中堅・中小企業の新事業展開や新商品開発、新規販路開拓等の新たな攻めの経営実現のため、大企業等において専門的な技術や知識等を習得した優秀な外部人材を活用して課題解決を図れるよう、企業の成長戦略を具現化して行くプロフェッショナル人材の採用や兼業・副業の活用により中小企業を支援しました。

ア マネージャーの配置 3名

イ 相談対応件数

相 談 件 数		業 種 別	
製造力強化	94件	製造業	148件
経営サポート強化	86件	建設業	28件
新事業展開・販路開拓	23件	卸・小売業	26件
新技術開発	2件	サービス業	14件
その他	40件	宿泊業	9件
(うち人材取次)	(198件)	その他	20件
計	245件 (前年度216件)	計	245件 (前年度216件)

ウ 成約件数 35件(前年度37件)

#### (8) 中小企業外国出願支援事業

優れた技術力や製品について海外展開を図る中小企業等に対し、外国への特許等の出願に必要な経費の一部を補助し、国際競争力の強化を支援しました。

ア 上限額 300～1,500千円、補助率1/2

イ 採択件数 5件：特許0件、商標5件、意匠0件  
(前年度9件：特許5件、商標3件、意匠1件)

ウ 補助金交付額：1,006千円(昨年度：4,497千円)

#### (9) 情報整備発信事業

メールマガジン(G-BOSS)を月2回の定期配信及び臨時配信により令和5年度は計27回配信し、各種支援情報、公募情報、イベント情報など中小企業等の経営に役立つ情報をタイムリーに提供しました。

○G-BOSSメール登録数 3,649件(令和5年度末現在)

#### (10) ネットワーク交流促進支援事業

幅広い業種を対象として企業間の新たな連携と交流を図るぐんま産業創造倶楽部と当機構が実施する各種事業との連携・協力によって、県内企業の活性化を推進しました。

○会員数 171(一般会員139、賛助会員32)

○主な活動  
・世話人会(令和5年4月24日、令和6年1月26日)  
・全体会・フォーラム・交流会(令和5年7月11日)  
講師 (株)MACHICOCO(大阪府)

代表取締役 戸屋加代氏

・オータムセミナー（令和5年11月21日）

講師 (株)レバレッジ(東京都) 代表取締役 只石昌行氏

・現場勉強会（令和6年2月20日）

視察先 茨城県(株)日立ハイテク、(株)幸田商店)

## (11) 上海事務所運営事業

県の国際戦略の推進に向けた海外拠点として、中国・上海市に開設した上海事務所では、進出している県内企業や近隣自治体との連携強化や現地情報の収集と効果的な情報発信などの取組を実施しました。また、3月には、上海市を訪問し、上海市の幹部等との懇談を行うなど上海事務所の運営のサポートを行いました。

## 2. 取引開拓支援

決算額	11,505 千円（前年度 11,908 千円）
-----	--------------------------

### (1) 下請取引あっせん事業

#### ① 受注・発注企業の紹介・あっせん

国内のコスト競争や景気変動の影響を受けやすい下請中小企業の安定した受注確保のため、職員やものづくり販路支援コーディネーターが県内外大手・中堅企業を積極的に訪問し、発注ニーズの掘り起こしや県内受注企業のPRを行い、新規取引先開拓や新分野への進出を支援しました。

また、県内大手・中堅企業を対象とした県内主要企業生産動向調査を実施し、今後の動向等を把握するとともに県内受注企業へ有効な情報提供等を行いました。

#### ○受発注企業登録状況（令和5年度末現在）

発注企業：1,245社、うち新規登録：46社

受注企業：2,949社、うち新規登録：31社

#### ○相談実績

区分	件数
取引あっせん相談関係	1,253件
経営関係	290件
その他	18件
計	1,561件 (前年度 1,745件)

※下請取引に関する相談や付随する経営等に関する相談を集計

○あっせん実績

区 分	件 数 / 金 額
あっせん紹介件数	352件(前年度345件)
あっせん成立件数	32件(前年度43件)
当初成立金額	43,180千円(前年度35,400千円)

○訪問企業数

訪 問 者	訪問企業	全 体		
		県内	県外	計
ものづくり販路支援 コーディネーター	発注企業	110	8	118
	受注企業	386	0	386
	計	496	8	504
職 員	発注企業	7	10	17
	受注企業	62	0	62
	計	69	10	79
合 計	発注企業	117	18	135
	受注企業	448	0	448
	計	565	18	583 (前年度639)

② 提案型企業の育成

企画提案書や事業計画立案の支援を行うとともに、具体的な商談をとおして提案型企業の育成に努めました。

発注企業名	開 催 日	参加企業数
日本制御機器株式会社	令和5年4月6日他	4社
株式会社富士製作所	令和5年6月15日他	13社

③ 下請かけこみ寺事業

下請代金の未払いや取引上の苦情・紛争に対して、連携する(公財)全国中小企業振興機関協会の相談員が駐在して対応しました。

また、公正取引委員会等と連携した下請取引適正化講習会などの普及啓発によりトラブルの未然防止に努めました。

○相談対応件数

業 種 別		内 容 別	
製造業	42件	契約上のトラブル	10件
建設業	42件	法令解釈	1件
サービス業等	112件	その他(代金未払等)	185件
計	196件 (前年度184件)	計	196件 (前年度184件)

※うち弁護士対応なし

○下請法セミナー（全国中小企業振興機関協会連携）

開 催 日	会 場	開 催 回 数	参 加 者
令和5年4月～ 令和6年3月	オンライン セミナー	15回 (前年度16回)	510名

(2) 販路開拓支援事業

① 広域商談会の開催

県内中小企業の取引拡大を図るため、県外発注企業との商談の機会を提供する「関東5県ビジネスマッチング商談会」を開催しました。

茨城、栃木、埼玉、千葉各県支援機関との共催。

開 催 日	会 場	内 容
令和5年9月6日	東京都立産業貿易センター 浜松町館	発注企業 93社(うち群馬 0社) 受注企業 237社(うち群馬 52社) 商談件数 1,054件(うち群馬 245件) 成約件数 32件(うち群馬 7件)

② 個別・合同商談会の開催

発注開拓等による県内外企業からの発注案件にタイムリーに対応し、対面やオンラインの活用により、県内中小企業に商談会等のマッチングの場を提供しました。

区 分	開催回数	発注企業	受注企業	商談件数
個別面談方式	86回	39社	86社	86件
提案型方式	17回	2社	17社	17件

③ 展示会出展支援

首都圏等で開催される展示会・商談会等に出展する県内企業を支援し、

中小企業の優れた製品や技術力を広く紹介して販路拡大を支援するとともに本県産業の技術力をPRしました。

○テクニカルショウヨコハマ 2024

開催日	会場	内容
令和6年2月7日～ 令和6年2月9日	パシフィコ横浜	県内出展企業 3社 商談件数 10件

○ぐんま Tech EXPO 2023

開催日	会場	内容
令和5年10月12日～ 令和5年10月13日	Gメッセ群馬	県内出展企業 140社 商談件数 1,148件

### 3. ものづくり技術・産学連携支援

決算額	75,451千円(前年度 53,290千円)
-----	------------------------

#### (1) 新成長分野への挑戦の支援

##### ① 次世代モビリティ産業参入支援事業

自動車メーカーや大手部品メーカーから招聘したコーディネーターを1名増員し、サプライヤー支援体制の強化を図りました。

また、メガサプライヤーの技術者による業界動向セミナー、MBD・CAEなどに対応できるデジタル人材の育成、経営幹部を対象にした勉強会、電動車分解調査、展示会共同出展などを実施しました。

- ア コーディネーター等の配置 3名(前年度2名)
- イ 支援企業数 248社(前年度324社)
- ウ セミナー開催

セミナー名等	開催日	会場	参加者
業界動向セミナー	令和5年10月12日	Gメッセ群馬	86名

##### エ MBD・CAE講座開催

講座名	開催日	会場	参加者
CAE基礎講座 (樹脂射出成形向け)	令和5年8月29日～ 令和5年8月30日	群馬県JA ビル	8名
CAE基礎講座 (プレス成形向け)	令和5年9月13日～ 令和5年9月14日	群馬県JA ビル	8名

オ 自動車サプライヤー勉強会開催 6回

講座名	開催日	会場	参加者
第1回勉強会	令和5年8月1日 講話「自動車部品サプライヤーの生き残りをかけた戦略」、グループワーク	群馬産業技術センター	14名
第2回勉強会	令和5年10月25日 「MHH0 Electric Driveの取り組み紹介」、グループワーク	群馬県JAビル	15名
日立Astemo(株)見学会	令和5年11月13日	日立Astemo佐和工場、日立オリジンパーク	12名
第3回勉強会	令和6年1月30日 講話「日系自動車部品サプライヤーの目指すべき進路」、グループワーク	群馬県JAビル	14名
東邦工業(株)、(株)明電舎太田事業所見学会	令和6年2月6日	(株)東邦工業、(株)明電舎太田事業所	9名
第4回勉強会	令和6年3月14日 「中間発表」	群馬県JAビル	11名

カ 電動車分解調査

開催日	会場	参加者
令和5年10月3日～ 令和5年10月5日	太田市産業支援センター	企業数 92社 参加者 266名

キ 展示会共同出展

○オートモーティブワールド2024

開催日	会場	内容
令和6年1月24日～ 令和6年1月26日	東京ビッグサイト	県内出展企業9社 商談件数 77件

② カーボンニュートラルに向けた自動車部品サプライヤー事業転換支援事業(地域支援拠点運営事業)

国の「ミカタプロジェクト」の予算を活用し、セミナーや研修、専門家派遣及び大手ティア1との提案商談会を開催しました。

ア セミナー開催 3回

セミナー等	開催日	会場	参加者
MBE (Model Based Enterprise)講座	令和5年7月12日	群馬産業技術センター	60名
カーボンニュートラル対策セミナー	令和5年10月13日	Gメッセ群馬	46名
自動車サプライヤー経営者のための事業転換改革セミナー	令和6年1月18日～ 令和6年2月27日	群馬県JAビル	8名

イ 群馬ものづくり改善・改革推進ナビゲーター養成塾等研修開催 1回

研修名	開催日	会場	参加者
群馬ものづくり改善・改革推進ナビゲーター養成塾（7日間）	令和5年7月6日、7日、 20日、21日、 8月3日、4日、10日	群馬県JAビル	15名

ウ CASEニーズ説明・商談会 1回（企業名：マレリ株式会社）

開催日	会場	内容
令和5年10月20日	Gメッセ群馬	参加企業数 19社 商談件数 4件

エ 相談窓口設置 相談件数38件

オ 専門家派遣 8社25回

③ 航空産業参入等支援事業

航空産業への新規参入を積極的後押しするため国際規格の維持・取得や新規参入及び新規取引をサポートしました。

ア 研修

研修名	開催日	会場	参加者
JISQ9100 内部監査員養成研修(2日間)	令和5年11月28日～ 令和5年11月29日	群馬県JAビル	17名

イ 国際展示会出展

○エアロマート名古屋 2023

開催日	会場	内容
令和5年9月27日～ 令和5年9月28日	名古屋市中小企業振興会館 吹上ホール	県内出展企業 3社 商談件数 75件

④ 医療機器開発支援ネットワーク事業

医療機器の開発・事業化について、国、県、商工会議所等をメンバーと



する医療機器開発支援ネットワークの地域支援機関として、関係機関と連携して支援しました。

## (2) デジタル化支援による生産性向上

### ① スマートファクトリー創出支援事業

専門コーディネーターを配置し、群馬産業技術センター及び同センター内に設置された「デジタルソリューションラボ」と連携し、ハンズオン等により製造業等のデジタル技術による生産性向上を支援しました。

また、社内のデジタル化推進に役立つセミナーを開催しました。

ア コーディネーターの配置 2名

イ 導入支援先 39社（前年度28件）

ウ セミナー開催

セミナー名	開催日	会場	参加者
「Digital Manufacturingが拓くものづくりの未来～限られた時間内で最大限の成果を出す方法～」	令和5年10月13日 (ぐんまTech EXPO 2023内)	Gメッセ 群馬	47名

エ 人材育成研修

研修名	開催日	会場	参加者
ロボットS I基礎講座	令和5年12月5日～ 令和5年12月7日	Gメッセ 群馬	18名

オ 先進企業視察等情報収集

視察先	開催日	参加者
H I L L T O P (株)、(株)クロスエフェクト、The Smart Factory @ Kyoto (京都先端科学大学)	令和5年11月14日～ 令和5年11月15日	10名

## (3) ものづくり人材育成事業

中小製造業の新人社員を対象に、ものづくりの現場で必要とする知識を体系的に習得してもらい、現場への早期の適応をサポートしました。

○群馬ものづくり現場新人研修開催

開催日	会場	参加者
令和5年4月7日	群馬産業技術センター	23社・67名
令和5年4月10日	東毛産業技術センター	16社・39名

#### (4) 国・県の競争的資金獲得等の伴走支援

国や県の助成金を利用して生産性の向上や事業革新等を目指す中小企業等に対して、事業計画づくりの段階から補助金獲得、事業化まで、伴走支援しました。

○競争的資金獲得支援等（申請書作成、計画認定支援等）

補助金名等	支援件数	うち採択件数
(国)ものづくり・商業・サービス生産性向上補助金	15	2
(国)小規模事業者持続化補助金	42	13
(国)サービス等生産性向上IT導入補助金	13	0
(国)事業再構築補助金	36	6
計	106	21

○公的支援制度認定等支援

認定等支援	支援件数	うち認定件数
先端設備等導入計画・経営革新計画	3	3

#### 4. その他

決算額	88,514千円（前年度91,750千円）
-----	-----------------------

##### (1) 機構管理運営

理事会・評議員会等の開催、人事・組織や財産・資金管理など公益法人としての適切な運営に当たりました。また、職員の支援能力を向上させるため、実務的な研修受講や個々人のスキルアップに努めました。

##### ア 理事会の開催状況

回数	開催日	開催等	議案番号	件名	備考
第47回	令和5年6月6日	群馬産業技術センター	第1号 第2号 第3号 報告	令和4年度事業報告及び決算について 役員等賠償責任保険契約について 定時評議員会の開催について 常勤理事の職務執行状況について	理事総数 9名 出席理事 8名

第 48 回	令和 5 年 6 月 30 日	みなし 決議	第 1 号 第 2 号 第 3 号	理事長の選任について 理事長の報酬額について 評議員会招集の決定について	理事総数 9 名 同意理事 9 名
第 49 回	令和 5 年 7 月 19 日	みなし 決議	第 1 号 第 2 号	副理事長の選任について 責任限定契約締結について	理事総数 9 名 同意理事 9 名
第 50 回	令和 6 年 3 月 27 日	群馬産 業技術 センタ ー	第 1 号 第 2 号 第 3 号 報 告	令和 5 年度収支予算の変更について 令和 6 年度事業計画及び 収支予算について 基本財産の運用について 常勤理事の職務執行状況 について	理事総数 9 名 出席理事 9 名

#### イ 評議員会の開催状況

回数	開催日	開催等	議案 番号	件 名	備 考
第 30 回	令和 5 年 4 月 8 日	みなし 決議	第 1 号 第 2 号	役員及び評議員の報酬等 並びに費用に関する規定 の一部改正について 評議員の選任について	評議員総数 8 名 同意評議員 8 名
第 31 回	令和 5 年 6 月 21 日	群馬産 業技術 センタ ー	第 1 号	令和 4 年度決算について	評議員総数 9 名 出席評議員 8 名
第 32 回	令和 5 年 7 月 11 日	みなし 決議	第 1 号	理事の選任について	評議員総数 9 名 同意評議員 9 名

#### (2) 設備導入資金債権管理

設備貸与事業及び県単リース事業の延滞債権の回収・整理を進めました。